

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 株式会社 なとり

上場取引所 東

コード番号 2922 URL http://www.natori.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名取 三郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 業務管理本部長 (氏名) 小林 眞

TEL 03-5390-8111

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	24,387	—	902	—	907	—	377	—
20年3月期第3四半期	24,603	△2.0	1,414	△16.4	1,429	△16.5	811	△25.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	25.32	—
20年3月期第3四半期	55.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	26,282	971.06	14,121	53.7	53.7	971.06	971.06	
20年3月期	23,954	952.91	14,334	59.8	59.8	952.91	952.91	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 14,121百万円 20年3月期 14,334百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年3月期	—	6.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	△1.4	690	△22.7	700	△23.2	410	△21.5	27.66

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 15,532,209株 20年3月期 15,532,209株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 989,532株 20年3月期 489,458株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 14,912,732株 20年3月期第3四半期 14,752,136株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記に記載されている予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における食品業界を取り巻く環境は、中国産問題、原材料高騰、国内景気の後退、消費の冷え込みなど、かつてない速さで悪化の一途を辿りました。

この間における当社グループの売上状況としては、第2四半期連結累計期間においては、中国産問題の影響から、いか以外の水産加工製品の一部や梅、栗製品などが売上不振を余儀なくされました。また、原材料高騰に対応した製品規格の見直しに伴い、一時的に売上を落とす結果となりました。さらに、低粗利の原料売りの見直しなどもあり、この期間の売上高は、150億42百万円（前年同期比5億73百万円減）に止まりました。

しかし、当第3四半期連結会計期間においては、珍味売場で主力のいか製品や揚げ物製品、チーズ製品等について高付加価値商品の充実を図るとともに、珍味外売場では、小物製品ジャンルで「駄菓子屋シリーズ」、素材菓子ジャンルで「ねりころ梅」「ねり飴こんぶ」「ねり飴こんぶ黒糖」など新製品を市場に投入し、売上回復に努めてまいりました。さらに、「節約」「巣ごもり」などの購買マインドにあわせ、低価格帯シリーズの「ジャストパック」やチルド製品の「フードパック」、「レトルト製品」などの拡販に注力した結果、この期間の売上高は、93億44百万円（前年同期比3億57百万円増）に上がり、その結果当第3四半期連結累計期間では、243億87百万円と前年同期に対する遅れは、2億16百万円に縮小しました。

製品群別の売上高の状況は、下記の通りであります。

期 別 科 目		当四半期累計		前四半期累計		差引増減額・率	
		平成21年3月期 第3四半期		平成20年3月期 第3四半期		増減額	
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率
		千円	%	千円	%	千円	%
珍味売場	水産加工製品	12,926,222	53.0	13,171,281	53.6	△245,058	△1.9
	畜肉加工製品	3,414,339	14.0	3,600,209	14.6	△185,870	△5.2
	酪農加工製品	3,141,102	12.9	2,883,862	11.7	257,240	8.9
	農産加工製品	784,024	3.2	727,419	3.0	56,604	7.8
	すなっくな珍味製品	24,984	0.1	38,584	0.1	△13,600	△35.2
	その他製品	1,925,818	7.9	1,851,658	7.5	74,160	4.0
	計	22,216,491	91.1	22,273,014	90.5	△56,522	△0.3
珍味外売場	小物菓子製品	503,196	2.1	674,372	2.7	△171,175	△25.4
	素材菓子製品	1,195,893	4.9	1,221,035	5.0	△25,141	△2.1
	チルド製品	423,090	1.7	384,264	1.6	38,825	10.1
	計	2,122,180	8.7	2,279,672	9.3	△157,491	△6.9
珍味売場・珍味外売場・計		24,338,672	99.8	24,552,687	99.8	△214,014	△0.9
賃貸収入		48,391	0.2	50,791	0.2	△2,399	△4.7
売上合計		24,387,064	100.0	24,603,478	100.0	△216,414	△0.9

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。

利益面では、運搬及び保管費用、消耗品の削減に努めておりますが、当期の原油価格高騰を受けた工場動力燃料費の増加や原料価格の高騰を受けた原料単価の上昇があり売上総利益が79億3百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

販売費及び一般管理費は、得意先の要望に対応するための物流費用の増加や規格変更製品導入に伴う販売促進費などの費用が増加したことにより70億1百万円（同2.1%増）となりました。

よって、営業利益9億2百万円（同36.2%減）、経常利益9億7百万円（同36.5%減）とともに減益となりました。

当第1四半期に、当社所有地の有効活用を図るため、既存建物の除却として1億37百万円を特別損失で計上しており、第3四半期連結累計期間の四半期純利益は3億77百万円（同53.5%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の連結総資産は262億82百万円（前連結会計年度末比23億27百万円増）となりました。

資産の部では、季節要因による売掛金やたな卸資産の大幅な増加や当社所有地の有効活用に伴う建設仮勘定の発生、建物及び構築物の除却が主な増減要因となります。

負債の部では、支払手形及び買掛金の増加や長期・短期借入金の減少などにより負債合計は121億60百万円（前連結会計年度末比25億39百万円増）、純資産の部では自己株式の買取りがあり、前連結会計年度末比2億12百万円減少し、141億21百万円となりました。

自己資本比率は前連結会計年度末比6.1ポイント減の53.7%となっております。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億89百万円減少し、5億37百万円となりました。

各活動におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、9億41百万円となりました。これは主に、資金の増加要因として税金等調整前四半期純利益7億62百万円、非資金損益項目である減価償却費4億58百万円に加え、仕入債務が20億33百万円増加した一方で、資金の減少要因として売上債権が23億57百万円増加したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、マイナス2億56百万円となりました。これは主に、工場における生産設備の購入等での有形固定資産の取得により2億28百万円支出したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、マイナス8億74百万円となりました。これは長期・短期借入金が3億16百万円減少、自己株式の取得により3億83百万円の支出、配当金の支払いにより1億73百万円支出したことによるものです。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成21年3月期第3四半期	941	△256	△874	537
平成20年3月期第3四半期	△452	△825	33	454
前年同期比増減	1,393	569	△907	83
平成20年3月期	△430	△1,341	801	726

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通 期	31,000	(△1.4)	690	(△22.7)	700	(△23.2)	410	(△21.5)

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

通期の連結業績見通しにつきましては、好調なアイテム群の拡販や積極的な新製品開発を進め、同時にチーム編成によるPB製品への対応とそれを起点としたNB製品シリーズのシェア拡大、生産性向上やコスト削減を目的とした製品アイテムの削減、効率的な営業戦力の再配置、得意先のニーズに十分な対応ができる営業体制の整備や充実、製造処方や生産工程の見直しなどによる業務のスピード化に努め、収益力の向上を目指してまいります。

なお、平成20年10月24日に平成21年3月期連結業績予想の修正を行っております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

③ 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ2,549千円減少しております。

(4) 追加情報

法人税法の改正（所得税法等の一部を改正する法律 平成20年4月30日 法律第23号）に伴い、法定耐用年数及び資産区分が見直されたことにより、第1四半期連結会計期間より機械及び装置の主な耐用年数を8～9年から10年に変更しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ10,537千円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)		前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	
資産の部				
流動資産				
現金及び預金		844,246		1,033,854
受取手形及び売掛金	※4	7,003,394	※4	4,646,894
商品及び製品		770,094		711,518
仕掛品		447,422		488,197
原材料及び貯蔵品		3,534,899		3,251,204
その他		353,596		524,718
貸倒引当金		△17,031		△13,591
流動資産合計		12,936,624		10,642,796
固定資産				
有形固定資産				
建物及び構築物（純額）		6,310,221		6,724,963
土地	※1	4,265,148	※1	4,268,486
その他（純額）		1,368,482		770,387
有形固定資産合計	※2	11,943,853	※2	11,763,837
無形固定資産		151,839		133,157
投資その他の資産	※3	1,249,966	※3	1,415,184
固定資産合計		13,345,658		13,312,179
資産合計		26,282,282		23,954,976

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)		前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	
負債の部				
流動負債				
支払手形及び買掛金	※4	4,930,420	※4	2,823,814
短期借入金		2,569,000		2,664,000
1年内返済予定の長期借入金		300,668		300,668
未払法人税等		163,007		177,067
賞与引当金		158,550		290,394
役員賞与引当金		7,500		14,000
設備関係支払手形	※4	614,321	※4	—
その他		1,420,276		1,178,293
流動負債合計		10,163,744		7,448,238
固定負債				
長期借入金		1,079,395		1,301,319
役員退職慰労引当金		253,810		203,710
退職給付引当金		24,008		23,056
負ののれん		27,320		34,941
その他		612,177		609,267
固定負債合計		1,996,711		2,172,295
負債合計		12,160,455		9,620,534
純資産の部				
株主資本				
資本金		1,975,125		1,975,125
資本剰余金		2,290,938		2,290,938
利益剰余金		10,694,947		10,496,424
自己株式		△815,829		△432,025
株主資本合計		14,145,181		14,330,462
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		△23,354		3,979
評価・換算差額等合計		△23,354		3,979
純資産合計		14,121,827		14,334,441
負債純資産合計		26,282,282		23,954,976

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	24,387,064
売上原価	16,483,210
売上総利益	7,903,853
販売費及び一般管理費	※1 7,001,036
営業利益	902,817
営業外収益	
受取賃貸料	27,032
その他	43,569
営業外収益合計	70,602
営業外費用	
支払利息	38,035
賃貸原価	26,623
その他	1,287
営業外費用合計	65,946
経常利益	907,473
特別利益	
固定資産売却益	16,687
特別利益合計	16,687
特別損失	
固定資産除却損	140,361
減損損失	7,223
ゴルフ会員権評価損	14,528
特別損失合計	162,113
税金等調整前四半期純利益	762,047
法人税等	384,510
四半期純利益	377,536

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間	
(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	762,047
減価償却費	458,940
減損損失	7,223
負ののれん償却額	△7,620
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,999
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△131,844
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,500
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	50,100
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	951
受取利息及び受取配当金	△13,310
支払利息	38,035
固定資産売却損益 (△は益)	△16,687
固定資産除却損	140,361
ゴルフ会員権評価損	14,528
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,357,088
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△285,744
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,033,799
未払消費税等の増減額 (△は減少)	175,743
その他	423,261
小計	1,290,196
利息及び配当金の受取額	13,555
利息の支払額	△35,159
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△326,974
営業活動によるキャッシュ・フロー	941,617
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△228,342
有形固定資産の売却による収入	30,104
投資有価証券の取得による支出	△23,254
その他	△35,462
投資活動によるキャッシュ・フロー	△256,955
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△95,000
長期借入金の返済による支出	△221,924
自己株式の取得による支出	△383,804
配当金の支払額	△173,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	△874,284
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△189,621
現金及び現金同等物の期首残高	726,838
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 537,216

第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

当社及び連結子会社は、食品製造販売事業を主な事業内容としており、当該事業区分の売上高及び営業利益は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める割合が90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

当社は、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により、当第3四半期連結会計期間において自己株式が383,804千円(500,074株)増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が815,829千円(989,532株)となっております。

「参考情報」

前第3四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金 額
I 売上高	24,603,478
II 売上原価	16,333,486
売上総利益	8,269,992
III 販売費及び一般管理費	6,855,268
営業利益	1,414,724
IV 営業外収益	
1. 受取賃貸料	21,957
2. その他	48,266
営業外収益合計	70,223
V 営業外費用	
1. 支払利息	27,205
2. その他	28,573
営業外費用合計	55,779
経常利益	1,429,169
VI 特別利益	
投資有価証券売却益	1,815
地域雇用奨励金	5,000
特別利益合計	6,815
VII 特別損失	
1. 固定資産売却損	7
2. 固定資産除却損	11,535
3. 投資有価証券評価損	7,011
特別損失合計	18,555
税金等調整前四半期純利益	1,417,428
税金費用	605,563
四半期純利益	811,865

(2) (要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区 分	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1. 税金等調整前四半期純利益	1,417,428
2. 減価償却費	401,983
3. 受取利息及び受取配当金	△12,346
4. 支払利息	27,205
5. 売上債権の増加額	△1,278,575
6. たな卸資産の増加額	△839,375
7. 仕入債務の増加額	981,729
8. 未払消費税等の減少額	△88,437
9. その他	△308,714
小 計	300,898
10. 利息及び配当金の受取額	12,529
11. 利息の支払額	△23,455
12. 法人税等の支払額	△758,301
13. 法人税等の還付額	15,953
営業活動によるキャッシュ・フロー	△452,376
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1. 有形固定資産の取得による支出	△881,886
2. 投資有価証券の取得による支出	△21,976
3. その他	78,576
投資活動によるキャッシュ・フロー	△825,287
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1. 短期借入金の増加額	515,000
2. 長期借入金の増加額	117,699
3. 自己株式の取得による支出	△427,653
4. 親会社による配当金の支払額	△171,117
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,928
IV. 現金及び現金同等物の減少額	△1,243,735
V. 現金及び現金同等物の期首残高	1,698,476
VI. 現金及び現金同等物の四半期末残高	454,741

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

当社及び連結子会社は、主に食品加工品事業を主な事業内容としており、当第3四半期連結会計期間における当該事業区分の連結売上高及び営業利益は、いずれも全セグメントに占める割合が90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

海外売上高はないため、該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
<p>※1. 担保資産 担保に供されている資産で、事業の運営において重要なものであり、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められるものは、次のとおりであります。</p> <p style="text-align: right;">土地 2,606,473 千円</p> <p>※2. 有形固定資産の減価償却累計額 10,221,729 千円</p> <p>※3. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額</p> <p style="text-align: right;">投資その他の資産 47,166 千円</p> <p>※4. 四半期連結会計期間末日の満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当第3四半期連結会計期間末日は金融機関の休日であったため、次の満期手形が当第3四半期連結会計期間末日の残高に含まれております。</p> <p style="text-align: right;">受取手形 10,417 千円 支払手形 217,852 千円 設備関係支払手形 82,393 千円</p>	<p>※1. 担保資産</p> <p style="text-align: right;">土地 3,272,710 千円</p> <p>※2. 有形固定資産の減価償却累計額 9,886,910 千円</p> <p>※3. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額</p> <p style="text-align: right;">投資その他の資産 46,606 千円</p> <p>※4. _____</p>

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
<p>※1. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p>	
販売促進費	1,428,804 千円
給与手当	2,056,437 千円
賞与引当金繰入額	85,775 千円
役員賞与引当金繰入額	7,500 千円
退職給付費用	36,092 千円
役員退職慰労引当金繰入額	50,100 千円
貸倒引当金繰入額	4,108 千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
<p>※1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p>	
(平成20年12月31日現在)	
現金及び預金勘定	844,246 千円
預入期間が3カ月超の定期預金	<u>△307,030 千円</u>
現金及び現金同等物	<u>537,216 千円</u>

(2) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における使用原材料別生産実績は、次のとおりであります。

区分	生産高 (千円)
水産加工品	8,042,474
畜肉加工品	2,424,881
酪農加工品	2,365,287
農産加工品	1,391,322
その他加工品	679,185
合計	14,903,151

(注) 1. 金額は、実際原価によるものであります。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注実績

当社グループ（当社及び連結子会社）は受注見込による生産方式をとっておりますので、受注高及び受注残高について記載すべき事項はありません。

(4) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

区分		販売高 (千円)
珍味 売場	水産加工製品	12,926,222
	畜肉加工製品	3,414,339
	酪農加工製品	3,141,102
	農産加工製品	784,024
	すなっくな珍味製品	24,984
	その他製品	1,925,818
	小計	22,216,491
珍味外 売場	小物菓子製品	503,196
	素材菓子製品	1,195,893
	チルド製品	423,090
小計	2,122,180	
珍味売場・珍味外売場計		24,338,672
貸貸収入		48,391
合計		24,387,064

(注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	当第3四半期連結累計期間	
	販売高 (千円)	割合 (%)
株高山	2,574,784	10.6

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。